

令和5年度補正予算「省エネルギー投資促進・需要構造転換支援事業費補助金」
「工場・事業場型」における『先進設備・システム』公開用概要書

製造会社情報（コンソーシアムの場合は、幹事社）

| | |
|-------------|---|
| 設備/システム名 | 非化石化を推進する省エネアスファルトプラント(GXアスファルトプラント) |
| 型番 | TAP-○○■S+TRD-△△DS-◇◇+ST-×××+▼▼▼S (○○はVドライヤ、■はミキサ、△△はRドライヤの能力、×××と▼▼▼にはサイロ容量を示す数値、◇◇はRドライヤの設置方式を示す) |
| 会社名 | 田中铁工株式会社 |
| 本社所在地 | 佐賀県三養基郡基山町小倉629番地7 |
| 会社WEBページURL | https://www.tanaka-iron-works.com/ |
| 製品紹介ページURL | https://www.tanaka-iron-works.com/product/ |

製品についてのお問い合わせ先

| | |
|-----|---|
| 連絡先 | 田中铁工株式会社 GX推進室 神谷 代表TEL：0942-92-3121 Email：i-kamiya@tanaka-iron-works.com |
|-----|---|

登録設備情報

| 導入可能な主な業種・分野 | D. 建設業 | E. 製造業 | |
|----------------------|-------------|--------|--|
| 導入対象となる分野・プロセス | アスファルト合材の製造 | | |
| 導入事例の省エネ量（原油換算：kl） | 20.1 | kl/年 | |
| 工場・事業場当たりの想定省エネ率 | 3.9 | % | |
| 設備・システム当たりの想定省エネ率 | — | % | |
| 導入事例における費用対効果（年間） | 0.4 | kl/千万円 | |
| 1台又は1式当たりの想定導入価格（参考） | 500,000,000 | 円 | |
| 保守・メンテナンス等の年間ランニング費用 | 7,500,000 | 円/年 | |

製品・システムの概要

アスファルト合材工場におけるエネルギー消費の約90%を占めるアスファルトプラントにおいて、エネルギー消費が大きい骨材の乾燥・加熱に関わるプロセス（製造過程）に、先進技術を組み合わせ、省エネ化を推進。つまり、主要な装置に高効率・省エネルギー機器とそれらを制御する新たな技術を用いて、省エネ化を進める。
さらに、化石燃料と非化石燃料の混焼を行うことで、持続可能な省エネ+非化石燃料への転換を図る。
工場全体として“省エネ率+非化石割合増加率=35%以上”を実現する。

導入形態：

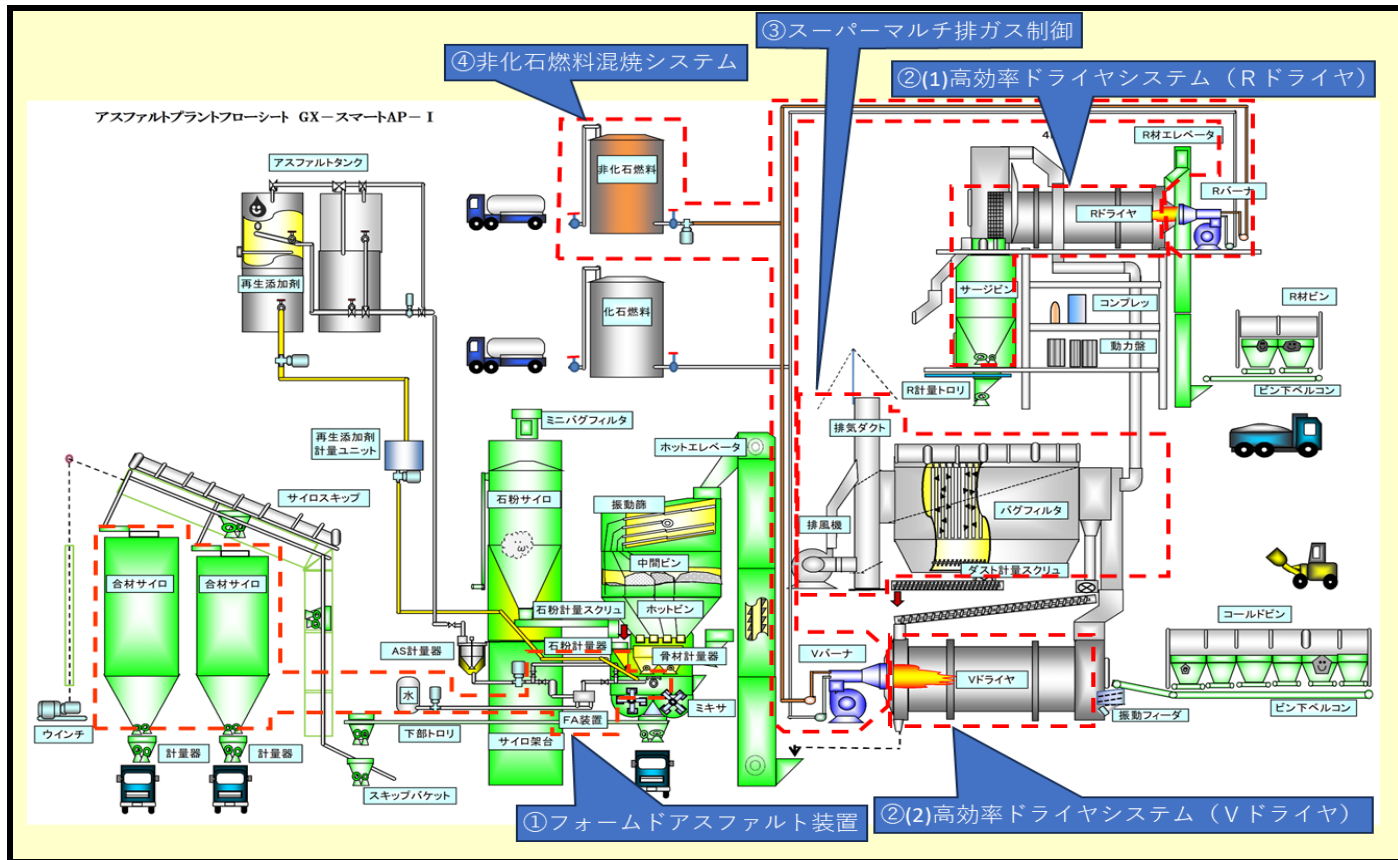
既存の設備・プロセスの一部、あるいは設備全体の更新により省エネ化を図る。

先進性についての説明

主要な装置に高効率・省エネルギー機器とそれらを制御する新たな技術を用いて省エネ化を進め、化石燃料と非化石燃料の混焼を行うことで、持続可能な省エネ+非化石燃料への転換を図る。

- ①アスファルト合材の製造温度を低減「フォームドアスファルト装置」
- ②骨材の乾燥・加熱を高効率化「プロセスを改善した高効率ドライヤシステム」
- ③ドライヤ効率を最適な状態に保つ自動制御方法「スーパーマルチ排ガス制御」
- ④非化石燃料への大幅な燃料転換「非化石燃料混焼システム」

製品・システムの概要・イメージ図



導入事例の概要・イメージ図

| 業種・分野 | アスファルト合材工場 | 対象設備・プロセス | アスファルト合材の製造 |
|-------|------------|-----------|-------------|
|-------|------------|-----------|-------------|

GX Smart AP

アスファルトプラント前景

アスファルトプラント後景

フォームド装置
低炭素アスファルト合材生産可能

非化石燃料(廃食油)バーナ
化石燃料から非化石燃料への転換

非化石燃料(廃食油)タンク